



## Business Information

業 務 案 内

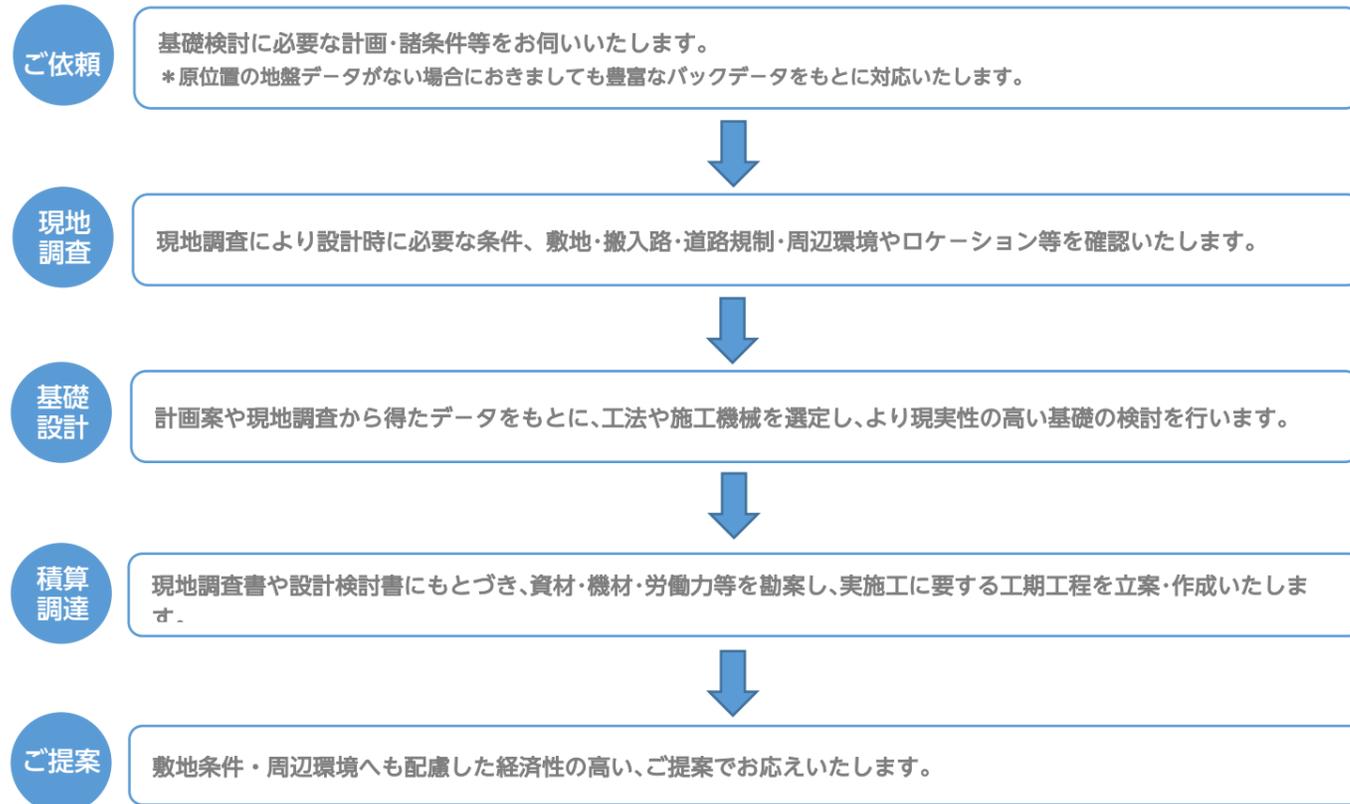


□本 社  
〒252-0134 神奈川県 相模原市 緑区下九沢 1507-5  
(代表)TEL:042-762-4739 FAX:042-762-8971  
E-mail:info@tobu21.co.jp URL: <http://www.tobu21.co.jp>

□東京営業所  
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2 朝日生命幡ヶ谷ビル 6 階  
TEL:03-3376-0123 FAX:03-3376-0124  
E-mail:tokyo-eigyoutobu21.co.jp

# One Stop Solution

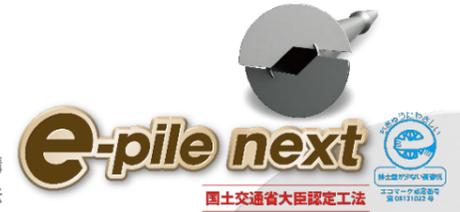
自社一貫体制による確かなアンサーで、お応えいたします。



## 開発力と技術力にもとづく様々な、オリジナル工法

### ● クラス最高位 高支持力 鋼管杭基礎「e-pile next 工法」

e-pile next 工法は鋼管杭が持つ優れた優位性、高い強度と品質の均一性そして、再生可能な環境性能を保持する他、回転圧入施工による低騒音・低振動、無排土施工で周辺環境と近隣配慮へも万全な杭基礎工法です。また、最大の特長は実践に強い！抜群の貫入性能と高い支持力を発揮する拡底構造、そして杭頭上部に拡頭構造を付加したことで、断面性能の向上からより高い経済性と安全性を実現した、他に類のない鋼管杭基礎工法です。



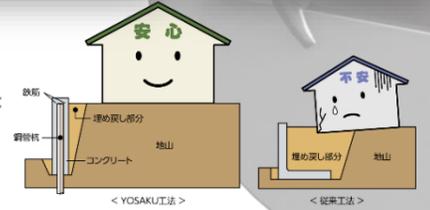
### ● 「圧縮・水平・引抜き」高力性能を実現！「e-p joint 工法」

鋼管杭の施工現場における継手構造は溶接による接続が最も多く用いられていますが、気象条件や作業環境により施工が困難となる場合や、溶接作業者の技能によって施工時間や品質が左右される問題が生じておりました。e-p joint は、こうした問題を全て解消した、「機械式無溶接継手」です。



### ● 自立式擁壁／フーチングレス・タイプ「YOSAKU 工法」

コンクリート壁と杭基礎の一体化構造で基礎ベース（フーチング）を必要としない画期的な自立式擁壁です。従来のL型擁壁では立ち上がり壁面同様の基礎ベース（フーチング）を要するため掘削時における土の問題（移動・処理・掘削による軟弱化）等、高低差のある狭隙地、狭小路等の小スペース施工の他、ベースが障害となり新築時の杭基礎或いは地盤改良等で設計施工上の課題も多く取り上げられておりました。これら問題を解消するために生まれたのが「YOSAKU 工法」です。



### ● LEDソーラー灯／灯りは私たちの安全・安心のパートナー「e-pole・system」

e-pole・system は、自然エネルギーを有効に活用する環境にやさしい自立発電照明システムです。杭基礎一体化構造により土工事(掘削・型枠・背筋・生コン)残土処理が不要のため即時設置・即時使用が可能です。また、自立発電により送電線のない広場や公園・駐車場等にも最適の他、非常時・災害時の停電による心配もないため、通路や避難場所・防犯灯としての利用にも適しております。



### ● 太陽光も架台基礎も、人に地球にやさしい鋼管杭基礎「e-pile・sp 工法」

e-pile・sp 工法は、従来様々な分野で数多く使用されている鋼管杭基礎工法です。鋼管杭に拡翼羽根を装着することで、高い圧縮力と引抜き力を発揮、これまで抱えていた軟弱地・急傾斜地等の問題や更には工期・工程の課題を解消したことでスムーズに、あらゆる条件下で設置が行えるようになりました。また、コンクリート基礎に比べ大がかりな掘削や土の移動を不要とするため経済性・利便性も高く評価をいただいております。



## 東部の事業と特徴

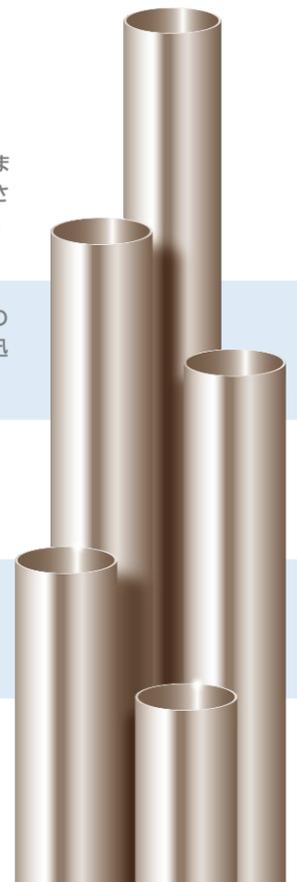
## 事業を支える5つの柱

# Business summary

### 東部の強み FIVE POINTS



- 技術開発** 21世紀を迎え地球規模での環境問題が深刻化する中、建設基礎工事においても決して例外ではありません。従来工法ではセメントミルク等の影響による土壌汚染問題や、排出残土等の産業廃棄物が懸念されている中、弊社では地球環境にやさしい再生可能な循環型鋼管杭基礎工法を主軸に新たな技術革新に向け日々様々な試験研究開発に力を注いでおります。
- 技術設計** 計画地・建設規模・地盤状況等を考慮し、安全性と経済性に加え周辺環境へも配慮した、より現実性の高い基礎提案を行います。また、基礎計算は信頼性の高い市販の構造計算プログラムにより行うため迅速且つ正確な対応で、お応えいたします。
- 技術施工** 自社開発・自社施工により施工技術者自らが開発段階から実践していることで、より確かな知識とノウハウで確かな施工と品質を実現しております。また、様々な条件下での難工事への対応も万全！豊富な経験と高度な技術により、あらゆるニーズに的確にお応えいたします。
- 品質管理** 製品・施工の品質管理は、共に厳格な国土交通省大臣認定基準に基づき実施している他、独自に一貫体制ならではの管理体制を確立し、日々の情報共有と、定期的に行う品質管理会議により、つねに信頼性の高い品質確保に向け全力で取り組んでおります。
- 安全管理** 建設現場における安全への取り組みを最重要事項と位置づけし、優先すべきは「人命」をモットーに、安全教育の徹底、自主的な安全パトロールの実施等、不安全行動の防止と無事故・無災害を目指し、日々挑戦し続けております。



# 会社案内

Tobu.

## 会社概要

会社名	株式会社 東 部
本店管理部	〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4 TEL : 042-764-4128 (直) FAX : 042-762-9593
本 社	〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5 TEL : 042-762-4739 (代) FAX : 042-762-8971
施工管理センター	〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5 TEL : 042-764-4122 (直) FAX : 042-762-8975
地盤評価センター	〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5 TEL : 042-785-2811 (直) FAX : 042-785-2810
相模原機材センター	〒252-0134 神奈川県相模原市緑区町屋 1-4-37 TEL : 042-851-2681 (直) FAX : 042-851-2682
東京営業所	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2 朝日生命幡ヶ谷ビル 6階 TEL : 03-3376-0123 FAX : 03-3376-0124
創立年月日	平成元年 11月 1日
設立年月日	平成 4年 8月 21日
資本金	30,000,000 円
代表者	代表取締役社長 鈴木郁男
従業員数	50名 (男子 40名 女子 10名)
事業内容	基礎建設工事業 / 基礎工法開発事業 ・国土交通省大臣認定工法(開発・製造・施工・販売) ・杭基礎(各種工法取扱) ・地盤改良(各種工法取扱) ・杭打ち機械(共同開発) ・地盤調査・地質調査・載荷試験・土壌汚染調査・他 ・保証事業(地盤保証・瑕疵担保保証、他) ・新技術開発(自立式擁壁/YOSAKU・機械式継手、他) ・環境配慮促進事業(エコ製品開発・省エネ施工、他) その他、前各号に付帯する一切の業務
建設業許可	許可番号 神奈川県知事 許可(特-23)第 54499号 ・土木工事業 ・とび・土工工事業 ・石工事業 ・鋼構造物工事業 ・舗装工事業 ・しゅんせつ工事業 ・塗装工事業 ・水道施設工事業
主要取引銀行	・静岡中央銀行 ・横浜銀行 ・八千代銀行
加入団体	・公益社団法人 地盤工学会 ・一般社団法人 神奈川県建築士協会賛助会会員 ・一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会賛助会会員 ・一般社団法人 相模原市設計共同組合賛助会会員 ・一般社団法人 東京都建築士事務所協会賛助会会員 ・一般社団法人 東京構造設計事務所協会 (ASDO) ・一般財団法人 日本溶接協会 ・一般財団法人 日本建築センター ・一般社団法人 日本建築構造技術者協会賛助会会員 (JSCA)

## 会社沿革

平成元年 11月	個人事業として創立
平成 4年 8月	組織変更により、有限会社 東 部 設立
平成 11年 4月	国内初、地盤保証制度導入 地盤保証検査協会 神奈川支部開設
平成 12年 7月	組織変更により、株式会社 東 部 資本金 10,000,000 円にて変更 設立
平成 14年 4月	(株) 日本住宅保証検査機構(J I O) 加盟
平成 14年 5月	X-Pile 鋼管杭工法 建築技術性能証明取得
平成 17年 10月	自立式擁壁/YOSAKU 工法開発
平成 18年 4月	株式会社 東 部 資本金 20,000,000 円に増資
平成 18年 6月	特定非営利活動法人住宅地盤品質協会 加盟
平成 18年 7月	財団法人 日本住宅保証検査機構 地盤業者登録
平成 21年 1月	e-pile 鋼管杭工法 (財)日本建築総合試験所 性能評価取得 GBRC 建評-08-231A-003 砂質地盤(礫質地盤を含む) 08-231A-004 粘土質地盤
平成 21年 2月	e-pile 鋼管杭工法 国土交通省 大臣認定取得 TACP-0325 砂質地盤(礫質地盤を含む) TACP-0326 粘土質地盤
平成 21年 4月	e-pile 鋼管杭工法 財団法人日本環境協会 エコマーク認定取得 日環エコ 090403066 エコマーク認定番号 08 131 022
平成 23年 6月	相模原機材センター開設 神奈川県相模原市緑区下九沢 1285-1
平成 24年 6月	e-pile 鋼管杭工法 (財) 日本建築総合試験所 性能評価取得 GBRC 建評-12-231A-002 砂質地盤(礫質地盤) 12-231A-003 粘土質地盤
平成 24年 10月	e-pile 鋼管杭工法 国土交通省 大臣認定取得 TACP-0425 砂質地盤(礫質地盤) TACP-0426 粘土質地盤
平成 26年 12月	東京営業所開設 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2 朝日生命幡ヶ谷ビル 6階
平成 27年 4月	e-pile next 鋼管杭工法 (財) 日本建築センター 性能評価取得 BCJ 基評-FD00219-01 砂質地盤(礫質地盤) FD00220-01 粘土質地盤
平成 27年 7月	e-pile next 鋼管杭工法 国土交通省 大臣認定取得 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤) TACP-0484 粘土質地盤
平成 27年 8月	e-pile next 鋼管杭工法 日本建築センター/評定取得(引抜き支持力) BCJ-FD0540-01(砂質地盤) FD0541-01(礫質地盤) FD0542-01(粘土質地盤)
平成 27年 8月	株式会社 東 部 資本金 30,000,000 円に増資
平成 28年 10月	e-pile next 鋼管杭工法 国土交通省 [NETIS] 登録番号 KT-160071-A
平成 28年 12月	新・相模原機材センター開設 相模原市緑区町屋 1-4-37(敷地約 1800 m <sup>2</sup> )
平成 30年 12月	経済産業省『地域未来牽引企業』選定
令和 2年 3月	e-pile next 鋼管杭工法 JR 東日本旅客鉄道 / 支持力性状評価取得
令和 2年 5月	e-p joint 機械式無溶接継手 / 建築技術性能証明取得 GBRC 性能証明 第 19-27 号
令和 2年 8月	e-pile next 鋼管杭工法 日本建築センター/評定取得(引抜き支持力) BCJ-FD0540-02(砂質地盤、礫質地盤、粘土質地盤) ※基礎ぐい用高張力鋼管 590 材(大臣認定)
令和 3年 9月	「相模原市 SDGs パートナー」登録
令和 4年 2月	e-pile next 鋼管杭工法 (財) 日本建築センター 性能評価取得 BCJ 基評-FD00219-02 砂質地盤(礫質地盤) BCJ 基評-FD00220-02 粘土質地盤
令和 4年 4月	e-pile next 鋼管杭工法 国土交通省 大臣認定取得 TACP-0641 砂質地盤(礫質地盤) TACP-0642 粘土質地盤 ※基礎ぐい用高張力鋼管 590 材(大臣認定)
令和 4年 8月	相模原 第 2 機材センター開設 神奈川県相模原市中央区田名 3516 (敷地約 910 m <sup>2</sup> )